福島民友新聞株式会社

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①　ごみレス100～全国ワースト脱出作戦

昨年5月の創刊記念日に合わせ、県と連携したゴミ減量プロジェクト「ごみレス100～全国ワースト脱出作戦」を繰り広げることを紙面で表明しました。

2022年度に県民1人が出したゴミの量が1日あたり1,021グラムで全国最多となり、7年ぶりのワースト1位となりました。

プロジェクトでは「1人1日マイナス100グラム」を目標に掲げ、家庭でのごみ減量を呼び掛けています。

紙面などを通じて、各市町村のごみ減量や再資源化の取り組み、県からのお役立ち情報を伝えています。

福島民友新聞社は昨年8月、「みんゆうゼロカーボン宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

きょう本紙創刊記念日

県と連携、ごみ減量推進

福島民友新聞社はきょう、創刊記念日を迎えました。1895（明治28）年の創刊以来、公正公平な報道に努めるとともに、古里の発展、環境保全に取り組んできました。

この一環として、きょうから県と連携し、ごみ減量プロジェクト「ごみレス100～全国ワースト脱出作戦」を繰り広げます。

県民1人が2022年度に出したごみの量は1日当たり1021グラムで、全国最多となり、7年ぶりのワースト1位を記録しました。プロジェクトでは「1人1日マイナス100グラム」を目標に掲げ、家庭でのごみ減量を呼びかけていきます。

100グラム減らせば、12年連続のワースト3位圏内を脱し、全国で30位前後となり、平均に近づきます。紙面などを通じて、各市町村のごみ減量や再資源化の取り組み、県からのお役立ち情報を伝えていきます。

例えば、バナナ1本分の皮の重さは約50グラム。たった2本分の皮を減らすだけでマイナス100グラムを達成できます。

また、生ごみの7～8割が水分といわれ、水を切ったり乾燥させたりするだけでも大幅に減らせるのです。皆さんも気軽に始めてみませんか。

福島民友新聞社は昨年8月、「みんゆうゼロカーボン宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。引き続き社会的責任を果たし、ごみの減量化にも貢献していきます。

主な取組②

報道や事業を通して県民とともに持続可能な社会の実現を目指す

新聞業の報道、営業、事業において、「誰ひとり取り残さない社会実現」というSDGsの理念を県民と共有し、解決に向けて行動に移していくことを目指しています。

企画ワッペン「子どもに未来を」「健康長寿」「プラスチック危機」で関連記事を目立つよう工夫し、紙面を通じて問題提起や啓発に取り組んでいます。本紙「ジュニア情報局」や出前講座「まなぶん」など授業で活用できるコンテンツもそろえ、将来の福島を担う人材育成を応援しています。

事業では「うつくしま・みずウオーク」や「サンシャインマラソン」などを展開し、環境共生と健康を考える機会を提供しています。

【うつくしま・みずウオーク】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × 福島民友

福島から、未来を変える

【SDGメディアコンパクト加盟】

〒960-8648　福島県福島市柳町4-29
【H P】https://www.minyu-net.com/
【TEL】024-523-1195
【MAIL】somu@minyu-net.com（担当：加藤）